

和合

No.126

2018. 12. 20

題字：三浦修次

主な掲載記事

和合探訪2
はやぐおっきぐなれの〜！3
よつぱこ通信4
6年生のみんなが願う和合の里 ...5

季節の郷土料理6
こんにちは 保健師です.....7
わごう駐在所7
和合の里INFORMATION8

和合探訪

－和合のルーツ
ここにあり！－

南興屋/中野
南野新田/主殿新田 編

◆参考資料

『余目町史』 余目町 発行

『十六合史』

十六合地区総合振興協議会 発行

『庄内町の文化財』

庄内町教育委員会 発行

村の創基

◆南興屋、中野

余目町史、十六合史によると、南興屋の開発年代については不詳ですが、村の300年祭が大正11年（1922年）に行われていることから、元和9年（1623年）の開村とされています。

南興屋村は、最上川南岸から移住して村を起こしたことから「南興屋」と名付けたという伝承があります。

また、中野についても開村年代は不詳とされていますが、南興屋と同じく大正11年に村の300年祭が行われていることから、元和9年の開村とされています。

どちらの集落も北楯大堰の開削による新田開発の1つとして誕生した村で、同じように北楯大堰の開削によって開発された西袋（122号）の開村年とも合致します。

◆南野新田

正保3年（1646年）に、南野村から高164石8斗7合の配分を受けて分村したとされています。しかし十六合史では、南野新田が独立する11年前（寛永12年）には、既に東隣に主殿新田村、西隣に中野村が開村しており、南野新田村がこの2村とほとんど一連に隣接した屋並に形づくられてあることから、中野や主殿新田の開発と同年代には既に集落が出来上がっていたのではないかと、また、分村の際に配分された土地についても、分村以前からの住人の持分ではなかったかと考察されています。

◇南野、中野、南野新田 三ヶ村の歩み

南興屋、中野、南野新田ともに創基の頃は庄内藩領でしたが、天和2年（1682年）に余目酒井家の領地となりました。しかし、この後間もなくの元禄9年（1696年）余目酒井家に嗣子がなくお家断絶となったことから、余目酒井家の領地は幕府に召し上げられ天領（江戸幕府の直轄地）となりました。その後も松山領になるなど変転し、元治元年（1864年）庄内藩領に復帰するまで約180年間も十六合地域内のほかの村々と領主を異にしていました。

天保年間（1831～1845年）にたびたび大凶作に襲われ、多くの村が村潰れの危機にひんしましたが、南興屋、中野、南野新田は3村が協力して「地盤立※」を行い、危機を乗り越えました。

※藩の適切な配慮、隣村の協力、村自体の更正策の立案と徹底した実施等の村を再建するための総合施策のこと。

◆主殿新田

余目町史によるとさまざまな史料のなかに、寛永12年（1635年）開発との記録が残っており、主殿という人物が開発し、その名を村名にしたと伝えられています。この主殿なる人物についてはどの史料にも記載がありませんでしたが、余目町史によれば「南野原十八軒割開拓のとき、某侍が馬を乗り入れて暴れ回り、土地を侵略しようとした。このため南野村の住民は少々土地を与えて事を治めたが、この地こそ主殿新田である」という伝説がありますが、定かではありません。



四ヶ村獅子踊

四ヶ村獅子踊は、南興屋、中野、南野新田、主殿新田によって伝承されてきた民俗芸能で、毎年8月15日に4つの集落を巡回します。

四ヶ村獅子踊の歴史は古く、余目地域に現在も伝わる6つの獅子のうち、古関、西袋、余目新田及び吉岡の獅子踊は、四ヶ村が最初に伝授したもので、親獅子、子獅子の関係にあります。

平成5年2月24日に庄内町の指定無形民俗文化財に指定されました。

パパとママにインタビュー はやくおっきくなれの～!

Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4 パパママの失敗談（子育てあるある） Q5 パパママからのメッセージ

上野 ^{かんた} 幹太ちゃん（吉方）

平成29年11月8日生まれ

パパ：^{ようへい}陽平 ママ：^{まゆこ}真悠子

- 1 自分の芯を持ち、周囲に分け隔てなく接する人になってほしいという思いを込め名付けました。
- 2 誕生日にもらったジャングルジムのすべり台を、逆さから登って、腹ばいで滑り降りてくることです。
- 3 食事中に自分のおかずをおもむろにつかんで、分けてくれたことです。
- 4 入浴中に手を離れた瞬間に、滑って頭まで浸かってしまったことです。呆然とした顔に思わず笑ってしまいました。
- 5 私達の元に生まれてきてくれてありがとう！ 幹太の笑顔に家族みんなが癒しと元気をもらっています。大きくなったら蔵王ヘスキーに行こう！



佐藤 ^{らい} 輝一ちゃん（南野）

平成29年11月10日生まれ

パパ：^{かずなり}一生 ママ：^{しほ}志穂



- 1 おじいちゃん、お父さん、お姉ちゃんと同じ「一」の漢字を使ったかったのと、一生のうちに何か1つでも、自分の夢中になれることを見つけて、輝いた人生を送ってほしいという願いを込めました。
- 2 とにかくお姉ちゃんが大好きで、お姉ちゃんの身振り、手振りを真似したり、踊ったりすることが好きようです。
- 3 食欲旺盛で、食べ物を見つけるとすぐに寄ってきます。「ちょうだい!!」と言わんばかりの“だんじょ”がものすごく面白いです。
- 4 静かにしているなぁと思ったら、赤いマジックのふたを外してペロペロなめていました。ペロも真っ赤で口の周りもゾンビみたいになっていました（笑）
- 5 佐藤家に生まれてきてくれてありがとう。少々やんちゃでも、健やかに育ってくれば言うことなし！これからも家族みんなでいっぱい笑って楽しく過ごそうね♡

よつばっこ通信



よつばっこ 庄内町探検!!



第1弾 8月30日(木) 余目方面

町立図書館と、第一公民館に行ってきました。たくさんの本に囲まれながら、読み聞かせをしていただいたり、つちだよしはるさんの絵本原画展を見たり、楽しいほっとするひとときを過ごすことができました。

第一公民館では、映画館のような視聴覚室で映画をたっぷり楽しんできました。



第2弾 10月19日(金) (立川方面)

いつもおいしい給食を作ってくれる共同調理場と、風車市場、消防署立川分署、風車村へ行ってきました。

①共同調理場

2階部分から調理の様子を見学！大きな鍋やしゃもじにびっくりでした。「いいにおい～」と言う声もありました。ますます給食が大好きに!!



②風車市場

「どらやきどこかな～」とお店の中を探しました。60円を握り締めて、1人ずつレジをしてもらいましたよ。

③消防署 立川分署

びしっと敬礼で出迎えてもらい「かっこいい!!」と大興奮。車両見学でも質問コーナーは止まらないほどでした。そして、最後には本格的な放水訓練を見せてもらい、迫力に驚きました。



④風車村

みんな大好きな風車村！風も弱まり、外でお弁当を食べました。遊具で遊んだり、どんぐりを拾ったりと目いっぱい楽しみました。

小さい頃から、地域を知り愛する心、自分の住んでいる町を誇りに思う心を、育てていきたいですね！



余目第四小学校6年生の みんなが願う 和合の里



りょうた
高橋 涼太
【西袋】

ぼくは、ずっと緑を守り続けて、ゴミなどがなくきれいにしていきたいです。ぼくもできるかぎりボランティアを、みんなの役にたつようなことをしていきたいです。

四小のじまをを広げたいです。

みんなが毎日明るくあいさつをして、友達と仲良く楽しく遊べるようになってほしいです。自分から進んでいろいろなことにチャレンジできて、緑いっぱいの自然が豊かな所、生き物全てが住みやすい所になってほしいです。
じまのあいさつがもっと良くなるように、みんなで心がけて、毎日がハッピーデーの和合の里にしていきたいです。



ありさ
齋藤 愛梨沙
【連枝】

私は、和合の里の自然がもっとよくなってほしいです。たまにゴミが落ちていることがあるので、もっときれいにしたいです。和合の里は自然がたくさんなので、そのまま続けてほしいです。

四小は、あいさつがじまなので、地いきの人などにたくさんあいさつをしたいと思います。



ことな
堀井 琴菜
【廻館】

みんなが笑顔で明るくすごせるような「和合の里」になってほしいと思うし、みんなが仲よく安全に過ごせる「和合の里」になってほしいと思いました。

四小のじまのあいさつも、もう少し大きな声ではっきり言えるようにしたいと思います。



みゆう
渡部 海祐
【吉方】

季節の郷土料理

大黒様のお歳夜



【12月9日】

大黒様のお歳夜は庄内地方に伝わる冬の年中行事で、9日の夜は、3本まっか大根、一升ますに黒豆煎り、ハタハタ、豆腐の田、豆なます、豆ご飯、大黒神像をまつり、酒、灯明を供えて、その年の家内安全、無病息災、また、豊年の感謝礼と福の授かることを祈る日です。

大黒様にお供えするごちそうにはそれぞれ意味があり、ぶりこがたっぷりついたハタハタは子孫繁栄、“豆” 尽くしのごちそうには、家族みんなが“手まめ、足まめ”に暮らせるようにとの願いが込められています。



【大黒様とまっか大根】

大黒様は餅が大好きだったそうです。ある時、餅をたらふくごちそうになり、家に帰る途中腹痛をおこしました。川端で大根を洗っていた嫁に「一本下さい」と頼みまし

たが、嫁は姑から大根の本数を数えて渡されているので、あげることができず困りましたが、大根の中にあった、まっか大根の一方をかき取ってあげました。大黒様はもらった大根で腹痛を治すことができたので、たいそう喜ばれたそうです。このことから、毎年大黒様にまっか大根を供えることにしたそうです。また、まっか大根は大黒様のお嫁さんだとも言われています。

黒豆 なます



◆材 料（4～5人分）

黒豆…250g 大根…25g
酢……1 カップ 砂糖…75g

◆作り方

- 1 黒豆をつぶす。
- 2 つぶした豆を酢で煮る。
- 3 大根をおろし、水気を切る。
- 4 2の煮汁に砂糖、塩を入れて味付けする。
- 5 黒豆、大根おろしを4 で和える。

ハタハタ の 田楽



◆材 料（4人分）

ハタハタ…8 尾 味噌…大6
砂糖…大6 と 1/2 酒……少々

◆作り方

- 1 ハタハタはえらのところから内臓を取り、水洗いして素焼きする。
- 2 鍋に味噌、砂糖、酒を加えてよく練る。
- 3 焼きあがったハタハタに2の味噌をつけ、両面をさっと焼く。

納 豆 汁



◆材 料（4人分）

納豆……1 パック 豆腐……半丁
もだし…7g 芋の茎…5g
酒粕……大3 味噌……大3
だし汁…500cc
薬味(ねぎ、唐辛子)…適量

◆事前準備

- 1 芋の茎はもどしておく。
- 2 納豆をすり鉢などですりつぶす。

◆作り方

- 1 材料を食べやすい大きさに切る。
- 2 だし汁に、もだし、芋の茎、酒粕を入れて火にかける。
- 3 材料に火が通ったら、豆腐、味噌を入れて味を整える。
- 4 最後に、すりつぶした納豆を入れて、火を止める。

◆ワンポイント

- ◎ 芋の茎は煮すぎると、サクサクとした歯ざわりがなくなるので注意する。
- ◎ 納豆を溶かし入れる際に、粗めのこし器を使うと溶かしやすい。
- ◎ 納豆を入れてから沸騰させると、納豆の風味が消えてしまうので注意する。
- ◎ 長ねぎの他に、岩のりや刻みのりなどをちらしても美味しい。

【出典】 鶴岡食文化創造都市推進協議会ホームページ、『余目町の民俗 年中行事』 余目町教育委員会発行



こんにちは 保健師です！

庄内町保健福祉課
渋谷 麗
(第四学区担当)

～のばそう！健康寿命！！～ 歯とお口の健康を守り、 健康寿命をのばそう！！

いつまでも健康でいきいきと暮らすためには、歯とお口の健康管理が大切です。

健康しょうない21計画（第3次）では、むし歯のない3歳児の割合の増加、定期的な歯科検診受診者40歳以上の割合の増加を目標にしています。

おいしく食べ、健康な生活を送るには、歯は20本以上あることが理想的です。80歳で20本以上の歯を維持できるように気をつけましょう。

☺ 歯とお口の健康を守るポイント

- ・就寝前は必ず歯をみがきましょう。歯と歯の間は、

歯間ブラシやデンタルフロスなどを活用しましょう。舌の上についた白い汚れを除去するには、舌専用ブラシがあります。

- ・かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受けましょう。
- ・食事は、よくかんで食べる習慣をつけましょう。
- ・間食の頻度や内容を見直しましょう。
- ・小学校2年生くらいまでは、毎日仕上げみがきをしましょう。また、子どもに自分で歯みがきをする習慣と、規則正しい食生活を教えましょう。

問い合わせ先 ◆ 健康推進係（余目保健センター）☎43-0817 ◆ 健康福祉係（立川庁舎）☎56-3392

落とし物や忘れ物、 拾った場合は… どうすればいいの？

わごう 駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



落とし物や忘れ物をされた方

落とし物や忘れ物をしたかもしれないと思う施設に問合せをして、最寄りの警察署または交番・駐在所へ「落とし物をした」という届け出（遺失届）をしてください。

また落とし物は、インターネットで探すこともできます。県警のホームページにある「拾得物検索システム」を利用し、【月日】【場所と時間】【物品の種類】を指定して、似たような物が警察署に届いていないか、自分で検索することができます。

（県内だけでなく、県外の落とし物も検索することが可能です。）

【山形県警察本部ホームページ／拾得物検索システム】

URL ☞ <http://www.pref.yamagata.jp/cgi-bin/found/index.cgi>

※ 検索の結果、類似物件があった場合は、該当の警察署に問い合わせてください。

拾得物 山形県

検索



落とし物や忘れ物を拾われた方

駅や店舗などの施設で拾った場合には、その施設に届けてください。

路上等で拾った場合には、最寄りの警察署や交番、駐在所に届けてください。

祝

平成 30 年度 春の叙勲、秋の褒章
～和合の里から 2 名が受章～

【春の叙勲 瑞宝双光章】

鶴巻 善範さん(廻館)(元庄内町消防団長)

昭和 41 年に消防団員を拝命して以来、平成 19 年から庄内町消防団長を、平成 26 年には、山形県消防協会副会長並びに山形県消防協会庄内支部長を拝命し、昨年 3 月まで 51 年のながきにわたり、庄内町のみならず、山形県内全域の予防消火強化を図るとともに、婦人防火クラブの育成や地域住民の火災予防意識の掲揚のために、初期消火訓練や通報訓練の実施など、積極的に活動を行い、第一線の現場活動で多くの実績を上げました。

【秋の褒章 黄綬褒章】

齋藤 隆さん(連枝)(庄内食肉公社管理部長)

昭和 52 年、庄内畜産公社(現 庄内食肉公社)に入社以来、食肉に関する一連の業務(と畜、部分肉、精肉、食肉加工など)を一通り経験し、衛生的で高品質な食肉を食卓に届けるため尽力しました。

管理部では食品安全、品質管理の認証規格取得、リスクアセスメント推進管理責任者として安全な作業環境の確保にも精励し、現在は管理部長として部を統括する立場にあり、後進の指導にも力を注いでいます。



和合秋香会 第15回菊花展

10月30日から11月1日まで、和合の里の秋まつりの一環として、和合秋香会による第15回菊花展が開催されました。会場には、会員の皆さんが丹精こめて育てたすばらしい菊花が並び、来場者の目を楽しませていました。

最終日には表彰式が行われ、土田善男さん(堤新田 / 左写真)の一般花厚物「国華金山」が見事、山形県知事賞に輝きました。

亀ノ尾の里資料館 企画展



明治 150 年にちなみ、清河八郎が明治維新の魁と言われる所以と、近代国家への幕開けとなった戊辰戦争、特に清川口の戦いを紹介します。

◆ 期 間

12月20日(木)
～H31年2月17日(日)

◆ 開館時間

午前9時～午後9時
(※ 1/15 は清掃日のため
午後5時～午後9時)

◆ 入 館 料

無 料

編集後記

1 年を振り返ってみると、春はいつまでも寒く、夏は大雨が続く四学区にも初めての避難勧告が出ました。秋は実りの季節と言われますが、県内の水稻作柄状況は芳しくなく、8月は「やや良」とされていたものの、降雨や日照不足の影響で10月には「やや不良」という結果となった1年でした。

来年はどんな年になるのでしょうか。良い年になりますように。

余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

平成31年 1月15日(火)

床清掃のため午後5時
からの利用になります。
ご協力をお願いします。